

浅香山中学校だより

第12号(3月号)



峠越え

令和8年2月27日  
堺市立浅香山中学校  
学校長 中谷 浩治



ホームページアドレス

<http://www.sakai.ed.jp/asakayama-j/>

携帯サイト

## 学年の始まりを最大限に生かすために

～今年度の経験を新年度の踏み台にしていきましょう～

### 【3年生の皆さんへ】

すでに進路が決まった皆さん、おめでとうございます。この1年間、たくさん悩み、たくさん頑張りましたね。まずはお疲れ様でした。その一方で、一般選抜を控えている人は、あともう少し辛抱強く頑張らましょう。

さて、卒業を控えた今の時期は、立ち場の違いが様々な態度に現れがちです。式当日、心から別れを惜しむような関係でいるために、72期生全員の進路が決まるまで、お互いを気遣いあう気持ちで過ごしてほしいと思います。

また、卒業式は中学校生活最後の授業です。卒業生の皆さんが歌う合唱も楽しみですが、何よりも注目されるのは証書授与の瞬間です。ぜひとも、一人ひとりの元気な返事と堂々とした姿を保護者や在校生に披露してください。



### 【2年生の皆さんへ】



今年度の卒業証書授与式には1, 2年生の代表者が出席します。在校生代表として、卒業生の姿から「卒業生のあるべき姿」を感じ取り、自分たちが最上級生になるための心の準備をしてもらいたいと願っています。73期生の中にも元気のいい人や前向きに頑張れる人がたくさんいます。先日のクラスマッチの際にも、リーダーだけでなく、その指示に協力できる集団の力を感じました。足の引っ張り合いではなく、切磋琢磨しあえる仲間、刺激を与えあえる集団に育ってくれることを願っています。

### 【1年生の皆さんへ】

スキー宿泊実習ではそれまでの準備の成果を大いに発揮することができましたね。この1泊2日はスキーを体験するだけでなく、学級として学年として仲間づくりを進め、皆さんの成長をめざすとても大事な行事でした。

スキーはもちろんのこと、バスレクや宿舎レクは大いに盛り上がり、とても素敵な時間を過ごしたと聞いています。そして、74期生への期待感が大きく膨らんだように感じています。残りひと月、お互いを尊重し合えるような過ごし方を心掛けてください。

# 【3月行事予定】 March



日	曜	授業・行事	昼食	日	曜	授業・行事	昼食
1	日			16	月	月1~4	
2	月	月1~5 教育相談 3年午前中	1:20	17	火	火1~3、大掃除	
3	火	火1~5 教育相談 3年午前中	1:20	18	水	水1 2 3 5 新入生予備招集	
4	水	送る会・金5水34 一般出願		19	木	木1~3、4限生徒会選挙	
5	木	木1~4		20	金	春分の日 一般選抜合否発表	
6	金	金1~4		21	土		
7	土			22	日		
8	日			23	月	授業・集会・机移動・学活	
9	月	月1~4		24	火	修了式・認証式・学活	
10	火	木5金2~4		25	水	春季休業	
11	水	水1~4 公立一般選抜		26	木		
12	木	月5水5木34 式予行・準備		27	金		
13	金	第72回卒業証書授与式		28	土		
14	土	新入生物品販売 10時~12時		29	日		
15	日			30	月		
				31	火		

※3/4（水）から学校給食はありません

## 【4月の主な行事予定（変更となる場合があります）】

3日（金）入学式、8日（水）始業式、20日（月）~21日（火）オープンスクール  
22日（水）授業参観、3年進路説明会・修学旅行説明会、27日（月）~家庭訪問

## 東日本大震災から15年を経て~命を守る行動に向き合うということ~

2011年（平成23年）3月11日午後3時頃、東北地方太平洋沖で発生した地震は、大きな揺れや大津波によって、東北地方を中心に多くの命を奪い、行方不明者を含めると1万8千人を超えました。また、津波の被害を受けた福島第一原子力発電所は冷却機能を失い、メルトダウン（炉心溶融）事故によって、住民が避難生活を強いられることにつながりました。



震災当日、中学校の卒業式が行われた堺市では、地震の被害こそなかったものの、被害の様子が報道によって明らかになるにつれ、お祝いムードが消え去ってしまったことを覚えています。被災地では過去の経験から避難訓練を積み重ねてきたようですが、地震発生直後の行動が生死を分けたそうです。学校や地域においても地震を想定した訓練を実施していますが、日本の至る所で頻繁に発生する地震は、「その日」を暗示しています。訓練が生かされるような機会が訪れないことを願いながら、常に命を守る行動を取れるよう心して過ごしたいものです。

## R7堺市児童生徒・学習生活状況調査（IRT） 1・2年生9月実施分より抜粋

★以下の数値は「あてはまる」「少しあてはまる」と回答した数値合計の割合を学年別に表しています

①勉強していてわからないところがあったら先生に聞く 中1 60.3%、中2 57.2%、平均 58.8%	⑨時と場に応じた適切な言葉遣いができますか 中1 93.3%、中2 85.8%、平均 89.6%
②勉強して大切な所は言われなくてもノートにまとめる 中1 69.5%、中2 56.2%、平均 62.9%	⑩学級での生活は楽しかったですか 中1 92.6%、中2 88.4%、平均 90.5%
③勉強で大切な所は、繰り返し書くなどして覚える 中1 71.1%、中2 67.0%、平均 69.1%	⑪学校の先生は自分の良い所を認めてくれましたか 中1 95.9%、中2 91.9%、平均 93.9%
④勉強で教えてもらった基本的なことは理解できたと思う 中1 81.0%、中2 68.7%、平均 74.9%	⑫先生たちは自分の悩みの相談に乗ってくれましたか 中1 89.3%、中2 92.8%、平均 91.1%
⑤自分には良いところがあると思う 中1 76.0%、中2 69.6%、平均 72.8%	⑬学校の先生はわかるまで教えてくれましたか 中1 89.3%、中2 90.2%、平均 89.8%
⑥将来の夢や目標を持っていますか 中1 76.9%、中2 59.8%、平均 68.4%	⑭安心して学校生活を送ることができましたか 中1 86.0%、中2 87.5%、平均 86.8%
⑦登下校時刻を守ることができますか 中1 95.9%、中2 92.9%、平均 94.4%	⑮授業の内容はわかりましたか 中1 90.1%、中2 76.8%、平均 83.5%
⑧進んで挨拶ができますか 中1 83.4%、中2 85.7%、平均 84.6%	⑯友人とは仲良くできましたか 中1 87.6%、中2 93.8%、平均 90.7%

## 学校アンケート・IRT調査の結果からこれからの方向を考え

峠越え2月号では年末に行った生徒対象および保護者対象の学校アンケート結果を掲載しました。今回は昨年9月に1，2年生を対象にしたIRTの質問調査結果（一部抜粋）を紹介しました。

アンケートへの回答は各個人の主観によるものなので、テスト結果のような客観的な数値とは異なります。考え方や感性が違えば、同程度の内容であっても「あてはまる」か「あてはまらないか」の判断は分かれます。ただ、「あてはまる」「ややあてはまる」という回答からは、回答者の「満足度」をある程度推し量ることができると思います。

また、質問内容に対して次回の調査では「あてはまる」と回答できればいいなと感じることができれば、**自分の生活を見直すきっかけ**になったり、**ほんのわずかな努力や成長のあとを認識したり**することにつながると思います。

人の心は外見と違って変化や成長はわかりません。しかし、時間の経過とともにその人の様子や行動に変化は現れるものです。また、その変化（成長）に誰一人気づいてくれなくても、自分自身がそれまで見えなかったものや気づかなかったことを少しずつ理解できるようになり、いずれは実感できる日がやってきます。型にはまることを求めているわけではありませんが、質問内容にも自分の進むべき方向が見つけられるかもしれません。

## 卒業証書授与式を控えて ～保護者の皆様・地域の皆様へのお願い

堺市立中学校では3月13日に卒業証書授与式を挙ります。保護者の皆様のご参列につきましては、各家庭からお2人を想定し座席の準備をさせていただきます。



各ご家庭の事情を鑑み、小さなお子様連れの保護者様にはご入館いただきますが、代表生徒以外の在校生は自宅学習としていますので、在校生の式参列はお控えください。なお、今もエレベータ工事を継続しておりますので、自転車で来校される場合は南門からお入りいただき、鉄棒付近を駐輪場所としてお使いください。

卒業生がすがすがしい気持ちで巣立ち、4月からの生活を滞りなく始められますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 12月～2月 教科・部活動等の主な活動記録

部活・教科名	大会名	種目	入賞者・結果など
バレーボール	堺泉北フェブラリーカップ		準優勝
国語科	連合書き初め展	入選	2年 女子 3名 1年 女子 4名
	堺っ子書道展	入選	2年 女子 2名 1年 女子 1名



## 今年度最終号発行にあたって

学校が抱える課題やめざしたい方向について伝え、そこから何かを感じたり、考えたりするきっかけにしてもらうために、この学校だより「峠越え」を毎月発行しています。今年度も早や2月末を迎え、締めくくりとなる3月号を発行する時期となりました。

生徒の皆さんにとって3学期は、次年度の0（ゼロ）学期とよく言われます。特に中学生活にピリオドを打つ3年生にとっては、4月から飛び込む新しい生活環境への順応が求められるため、この時期は重要な「準備期間」であり「助走期間」となります。もし何かから手をつけてよいのかわからなければ、まず身の回りの整理から始めることをお勧めします。新しく手に入れるものを使いこなすために、機能的な環境づくりを進めましょう。

さて、今年度もつたない文章の羅列となってしまいましたが、学校だより「峠越え」をご覧いただき、厚くお礼申し上げます。新年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 学校生活のキーワードは「和(わ)」「礼(れい)」「真(しん)」

「和」：仲良く、協力し合う気持ち。争いをやめること。

「礼」：敬うこと。感謝の気持ちを表すことば。礼儀。

「真」：いつわりでないこと。まじめなこと。真剣なこと。正しいこと。